

高等学校 芸術(書道) 解答用紙

(4枚のうち1)

(解答は指示がある場合以外、解答用紙に楷書で記入すること)

受験番号

3

得点

(1)

① 塩

② 回

③ 画

④ 圧

⑤ 証

(2)

① 安

② 加

③ 止

④ 武

⑤ 保

(3)

① 層

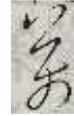
② 異

③ 修

④ 色

⑤ 神

(4)

① 

② 

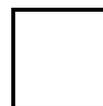
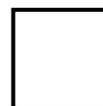
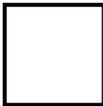
③ 

④ 

⑤ 

(5)

お(於)ろか(可)な(那)るなみ(見)
た(堂)そ(曾)ゝてに(尔)たま(万)
はなす(寸)あ(書かなくてもよい)わ(王)れは(八)
せき(支)あ(阿)へす(春)た(多)きつ
(徒)せな(奈)れは(盤)



高等学校 芸術(書道) 解答用紙

(4枚のうち2)

(解答は指示がある場合以外、解答用紙に楷書で記入すること)

受験番号

3

(続き)

得点

--

(6)	
人物名	作品名
欧陽詢	九成宮醴泉銘
虞世南	孔子廟堂碑
褚遂良	雁塔聖教序
/	/

--

(7)
私の書は鍾張に比べると、鍾とは同等といえる。或いは鍾よりまざっていると思われる点もある。張の草書に対してはやや劣るだろう。しかし、張の精熟の程度は、池の水が墨のように真っ黒になるほどだった。もし私が張のように努力(書の勉強)をすれば、必ずしも張に負けるとは限らない。(今は少し負けている。)
/

--

高等学校 芸術(書道) 解答用紙

(4枚のうち3)

(解答は指示がある場合以外、解答用紙に楷書で記入すること)

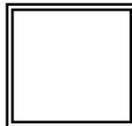
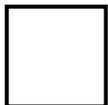
受験番号

3

(続き)

得点

(8)				
⑤	④	③	②	①
<p>清の金石学者。師は潘存。明治時代に来日し、日下部鳴鶴、巖谷一六、松田雪柯等に六朝碑学を説き、六朝書を広めた。</p>	<p>漢字の書体は、篆書・隸書・草書・行書・楷書の五つに分類される。篆書が簡略化されて隸書が生まれ、隸書を早書きするために簡略化されて草書、行書が生まれた。また、楷書も隸書からできたものである。</p>	<p>本来、墨書された文字を墨跡と言うが、日本の書道界においては、禅宗の僧侶による書を禅林墨跡、略して墨跡と言い、限定している。和様の衰退時期に、禅僧が宋の書を持ち帰ったこともあり、禅僧特有の書風の書が多く書かれた。禅の辞句が書かれ、書院や茶室の装飾用にも重要な役割を果たした。</p>	<p>中でも、筆・墨・硯・紙は古くから「文房四宝」と呼ばれ大切にされている。</p>	<p>空海が、最澄に宛てた書状(手紙)。第一通の書き出しが「風信雲書」とあるので「風信帖」と呼ばれている。書体は行草。たっぷりとした太い線と引き締まった細かい線を駆使した変化に富んだ書風。王羲之や顔真卿の影響を受けながら、独自の書風を展開した書。東寺蔵。</p>



受験番号

高等学校 芸術(書道) 解答用紙

(4枚のうち4)

(解答は指示がある場合以外、解答用紙に楷書で記入すること)

4

得点

(1)
生徒たちの身の回りにある、表札、看板、書籍のタイトルをはじめポスター、贈答品の表書き等、現在でも毛筆で書かれた文字が多くあることに気づかせる。 それを踏まえ、生活や社会の中で、書の表現効果や社会で共有されていることを、フィールドワーク等体験学習を通じて学ばせる。

(2)				
⑤	④	③	②	①
学習を通して気づいた特徴を明確にし、自らの言葉で互いに伝え合う。	「高野切第三種」における連綿について、第二時に学習した連綿の種類を当てはめて考え、グループで確認する。	文字の大小、墨の潤濁、行の流れ、行間や余白など全体の構成について理解する。	直線、曲線、転折、円運動、結びなど、仮名の基本的な用筆・運筆を理解する。	漢字の伝来から仮名の成立に至る過程を理解する。